

維持管理・運用について

- ・各池にフェンスを設けるのか
⇒安全管理上、転落防止柵を設ける。
防球ネットの設置の是非は決まっていない。
1次池と2次池の間については、具体的に決まっていないが、B池のように常時水を貯めることを想定した池とその他の水を貯めない池があるため、池ごとに考える。
- ・非常用便所の設置の可能性の確認をお願いしたい。
- ・駐車場の規模についての根拠はあるのか
⇒上部利用の内容が決定しないと算定できないため、概ねの位置を示したものである。上部利用の内容が決まり次第、基準等を勘案しつつ規模を算定する。
- ・夜間はどのようにするのか
⇒閉鎖する
- ・B池は、管理を十分に行わないとイメージ図のような状況を保つことができない。NPOや有識者等で組織をつくり、管理者の決定と設計を合わせて行う必要がある。
⇒本年度は、3つの組織（地域懇談会／アドバイザー会議／行政調整会議）により、4池の上部利用についての検討を行った。次年度も引き続き、3つの組織により4池の検討を行うが、B池については、事務局としても、別途組織を設けて検討する必要があると考えている。体制については、行政調整会議で練り、平成25年度に報告したい。
- ・管理主体を早急に決めて頂きたい

《結論》

- 維持管理・運用については、2月下旬に行われるアドバイザー会議にて、専門的なアドバイスを頂いた上で、平成25年度に具体的に検討していく。
- 検討体制については、アドバイザー会議や行政調整会議で練り、平成25年度の地域懇談会で決定する。

その他について

- ・用地買収は進んでいるのか。
⇒買収できていない土地があるが、現在交渉を進めている。
- ・B池は虫の発生が懸念される。水は循環するのか。
⇒循環可能と考えている。
- ・池内に降った雨はどのようになるのか。
⇒2次池に降った雨は、1次池に排水し、最終的には引地川に放流する。
- ・地権者やスポーツ団体からの要望はないのか。
⇒地権者については、平成21年度に地権者数名を含めた意見交換会を行った。家庭菜園の要望があったが、洪水時に水を貯めるという遊水地の機能上、難しい。また、特定の施設の駐車場の要望があったが、公共性の観点から整備はできないと判断している。
スポーツ団体についても、公共性の観点から特定の団体からの意見を取り入れることは出来ない。なお、C池をスポーツ利用を想定した空間としていることについては、「ふじさわスポーツ元気プラン2020」との整合が取れている。